

【一般公開】歴史講演会

第46回三重大学歴史研究会大会

三重大学歴史研究会大会を、次のように開催します。午前は学生の研究報告で、3本の報告を予定しています。

午後は江戸時代に藤堂藩の城であった津城の廃城過程、上野城下町（藤堂家臣の系譜研究を含む（予定））について、それぞれ専門の研究者をお招きし、御講演いただきます。

例年、会員以外の一般の方にも多く御参加いただいております。日程のうちの一部のみの参加も可能です。今大会もみなさまの幅広い御参加をいただきますよう、よろしくお願いたします。

日 時：平成29年1月28日（土）
会 場：三重大学三翠ホール（小ホール）

参加費：資料代300円（会員無料）

大会日程（8:30 受付開始、9:15 開会）

9:30 学生部会報告（～11:45）

「江戸期本膳料理から見る儀礼時の食事観」

「満洲国における初等教育」

「清朝の華南沿海部統治とアヘン戦争」

13:00 講演（～16:10 途中休憩あり）

吉村 利男 氏（三重県史編集委員）

「明治以降、津城跡の保存をめぐる」

福井 健二 氏（伊賀文化産業協会理事）

「上野城下町絵図の検討」

主催 三重大学歴史研究会

後援 津市・津市教育委員会・三重大学

お問合せ 〒514-8507 津市栗真町屋町 1577 三重大学教育学部歴史学研究室内
大坪（三重大学教育学部）TEL 059-231-9219 E-mail : otsubo@edu.mie-u.ac.jp

三重大学歴史研究会とは

三重大学歴史研究会は、昭和25（1950）年三重大学学芸学部（現教育学部）社会科歴史学専攻の教員・学生を中心に設立されました。現在では、卒業生はもちろんのこと、県内外の歴史学研究者・地域史研究者の幅広い御支援をたまわり、機関誌『ふびと』を毎年発行するなどの活動を行っております。